



ネット・ショップ開店のための ショッピングカート比較

- 1.ショッピングカートの形態
- 2.レンタル型ショッピングカート
- 3.販売型ショッピングカート
- 4.無料配布型ショッピングカート

プランドゥ・アシスト
白田 明

インターネット上の商店舗、すなわちネットショップでは、訪問者がネット上に陳列されている多くの商品の中から、複数の商品を選んで、最終的に合計金額を支払うしくみが必要となってきます。そのようなしくみを**ショッピングカート**と呼びます。

金銭に関わるやりとりが必要になり、安全性が大変重要です。これらを独自に準備することは、難しいので、これらのサービスを利用することも必要になってきます。

ショッピングカートには、大別すると、以下の5つがあります。

1. レンタル型ショッピングカート

ASP型とも呼び、業者が専用サーバにショッピングカートシステムを構築し、複数ユーザで共有します。レンタルのため、月々の運営費が発生します。導入できる機能は豊富。人気のある形態です。

2. 販売型ショッピングカート

販売されているサイトからダウンロードし、ユーザごとに利用しているサーバへ設置します。初期費用のみで導入できますが、HTML等の知識が必要。

3. 無料配布型ショッピングカート

フリーCGI等を利用し、ユーザごとに利用しているサーバへ設置します。費用はかかりませんが、HTML等の知識が必要。

4. オリジナルショッピングカート

制作会社にすべて依頼します。自由度は高いですが、費用が高額となります。

5. ショッピングモールのショッピングカート

楽天などのショッピングモールに付帯するショッピングカートです。モールへの出店が必要となります。

1. レンタル型ショッピングカート

利用用途・評価	小・中規模のショッピングサイトの場合、最も評価が高い。
導入	容易に導入可能。
機能	販売管理、在庫管理、顧客管理など多機能。カスタマイズは不可。
決済方法	各種振込み、代引き、コンビニ決済、カード決済に対応。
費用	レンタルですので、初期費用(数千円～1万円程度)と毎月の費用(多種多様)がかかります。
例えば	さくらショッピングカート(株セッション)を利用すると、 初期費用 ¥0～(カスタマイズする場合、費用負担あり) 月額費用 ¥840～(オプション機能により異なる)
	MakeShop(株メイクショップ)を利用すると、 初期費用 ¥10,500 月額費用 ¥0～(30商品までは、¥0。商品数により費用がかかる。) コンビニ決済・カード決済対応。各種サポート機能あり。

利用用途・評価	小・中規模のショッピングサイト向け。運用費用を抑えることができる。
導入	ある程度Webの知識が必要。
機能	販売管理、在庫管理、顧客管理などの機能は、サービス会社により多種。
決済方法	各種振込み、代引きが主であり、コンビニ決済、カード決済は難しい。
費用	初期費用のみ。毎月の費用はかかりません。

利用用途・評価	小規模のショッピングサイト向け。とりあえずネットショップを運用する場合に選択する。
導入	Webの知識やプログラム(CGI)の知識が必須。
機能	機能は、貧弱。
決済方法	各種振込み、代引きが主であり、コンビニ決済、カード決済は難しい。
費用	無料で開店可能です。ただし、セキュリティ等のリスクを理解しておかなければなりません。